

ブック村だより

| | |
|--------------------------------|----------|
| 本学コレクション紹介 (23) ペリー 『日本遠征日記』…… | 森岡 邦泰(1) |
| 本との出会い、自分との出会い…………… | 橋本 信子(2) |
| ぶっくす・なう…………… | (4) |
| 『ビブリア古書堂の事件手帖』(1)(2) | 谷岡 一郎 |
| 『ヒトラーのウィーン』 | 塩田 眞典 |
| 『なぜ日本は破綻寸前なのに円高なのか』 | 佐和 良作 |
| 『風をつかまえた少年 | |
| : 14歳だったほくはたったひとりて風力発電をつくった』 | 下山 晃 |
| 学生選書スタッフ 2011年度活動報告…………… | (6) |
| データベース活用講座③…………… | (7) |
| インフォメーション・開館案内…………… | (8) |



本学コレクション紹介 (23) ペリー 『日本遠征日記』 1856 ①

二世紀半以上続いた江戸幕府はペリーの来航をきっかけにあっけなく崩壊してしまった。そのペリーが記した記録が『日本遠征日記』である。実際に読まれることは少ないと思われるのでその一部を紹介してみよう。ペリーは走行可能な蒸気機関車の模型や電信などを贈り物として日本へ持ってきた。進んだ科学技術を知らしめるためだろう。「日本人は驚くほどの好奇心を示しており……彼らはそれらをほんのちょっと調べてみるだけでは満足せず、士官たちや水兵たちの後にまわりついて、あらゆる機会をとらえては、彼らの

衣服のあらゆる部分を調べ上げ、そして一つあるいはもっと多くのボタンを手に入れようと最も強い欲望を示した。艦内に立ち入ることを許された人々も……隅から隅までくまなく見、あちこちを計測し、そして目に映ずるものなら何でも彼らの流儀でスケッチした。」ペリーはアジア各地を回ってから日本に来ているが、ボタンさえ集め何でもスケッチするこの好奇心の強さが目についたようである。やがてこの好奇心の強さが科学技術の導入・殖産興業へとつながっていく。

(経済学部 准教授 森岡 邦泰)

特集 本との出会い、自分との出会い 『図書館とともに』

経済学科 専任講師 橋本 信子

子どもの頃から図書館派です。図書館が大好きで、本はもっぱら借りて読んでいました。

小学生の頃は児童文学や探偵もの（怪人二十面相、ルパン、ホームズなど）をよく読みました。学校の図書室も利用しましたが、高学年になると地元・草津市の中央公民館の図書室によく通いました。公民館の図書室は2階にありました。コンクリート壁のらせん状の外階段で上がっていきます。まるで塔のようでワクワクしたものでした。室内はやたらと冷房がきつくて寒かった覚えがあります。所蔵冊数は少なく、自習スペースの方が大きいくらいでした。図書館（室）は静かに勉強するところという時代でした。

中学生のときに市立図書館ができました。たっぷり本があって、吹き抜けて明るくて広々としていて、ソファもあって、児童コーナーはじゅうたん敷き、催し物やお話し会も開かれて、ずいぶんあか抜けた開放的な空間になったものだと思います。この少し前に滋賀県立図書館も隣の大津市に新築されました。その後、滋賀県は全国トップクラスの図書館先進県になっていきます。私が買うよりも借りる派になったのは、滋賀の図書館がめきめきと成長していく時代の空気を吸って成長したからということもあると思います。



滋賀県立図書館 正面・中央階段

私の市立図書館の利用者番号は4桁でした。学生時代に市立図書館でアルバイトをしたとき、職員さんに桁が小さいと驚かれました。最古参の利用者に入っていたわけですね。最近、カードが切り替わって新しい7桁の番号になってしまったのが残念です。

高校は京都の女子校に片道一時間強かけて通いました。電車通学の友は軽くて小さい文庫本でした。この頃は世界文学を読んでいました。サマセット・モームや『ミステリーの女王』、アガサ・クリスティが好きでした。どちらもイギリスですね。英語も好きだったので英文科への進学を考えていました。

★当館には早川書房「クリスティ文庫」があります！

あるとき、次はなにを読もうかと高校の図書室の文庫本コーナーをうろろろしていたら、その場にいたクラスメイトが、じゃあこれは？ と適当に指したのがドストエフスキーでした。イギリスものとは全然違う、重くて暗い文章。登場人物の名前がやたら長い上に、愛称もいろいろ出てきてややこしい。ところが、なぜかはまってしまいました。大学ではロシア文学を専攻できないかとも思いましたが、系列の大学にはロシア文学専攻がありませんでした。

ドストエフスキーへの愛は、ロシア語、ソ連（当時）政治への関心に転化しました。この頃、ゴルバチョフ氏がソ連の指導者になって改革（ペレストロイカ）を進めていたので、大学では国際政治を学ぶことにしたのです。そして第二外国語でロシア語を、一般教養でロシア文学の講義を履修することを楽しみに待ちました。

ロシア文学の講義は期待以上に面白い授業でし

た。内容はもちろんですが、先生の甘いやわらかい語り口にも魅了されました。いつも一番前で聴きました。ドストエフスキーの新訳で有名な、現・東京外国語大学学長、亀山郁夫先生です。

光文社古典新訳文庫

『カラマーゾフの兄弟』(全5巻)『悪霊』(全3巻)(亀山氏訳)は4F 983/D88にあります。

ロシア語の先生にも恵まれました。1回生のときの女性の先生は気さくな方で、友人とお家に遊びに行かせていただきました。パートナーの方も研究者で、本で埋まったお部屋に圧倒されました。研究者の蔵書を見たのは、このときが初めてでした。この先生に紹介していただいて、2回生の夏には当時のレニングラード(現サクトペテルブルク)に6週間のロシア語研修に行きました。まだ日本人が自由にソ連を旅行することは許されていなかった頃です。空港で写真を撮ったら逮捕されると注意を受けました。初めての海外でしたので、かなり緊張感を持って出発しました。でも行ってみれば、白夜のレニングラードはそれはそれはきれいで治安が良く、とても快適に過ごすことができました。もうこれはゴルビー(ゴルバチョフ氏の愛称)の「新思考外交」を研究するしかないと大学院進学を決意したのです。

ところが進学の前、ゴルビーは改革に反対する保守派によるクーデタに遭い(未遂に終わりましたが)、1991年末のソ連邦の解体で指導者の座から退場してしまいます。意気消沈した私は、卒業旅行で訪れたチェコとスロヴァキアに魅せられて、研究対象を西にずらしました。

さて、大学院を出て大学で教え始めてからは県立図書館をよく利用しています。蔵書数も多く、貸し出し可能な冊数も多いので、たくさんの本に目を通したいときは実にありがたい存在です。初めて講義を受け持ったのは、大商大でいえば「基礎演習」や「学習リテラシー」のような科目でし

た。複数の教員で担当する科目で、私が講義を担当したのは「プレゼンテーションの仕方とレジユメの書き方」の一項目だけでしたが、関連する本を根こそぎ借りて必死で準備しました。図書館様々です。

今はもちろん大商大の図書館にお世話になっています。きれいで静かで明るい、素敵な空間ですね。社会科学系の蔵書がとても充実しています。

私のお気に入りには2階、特集コーナーや新刊本コーナーです。私が借りてしまうと学生のみなが手に取れないなあと思いながら新刊を借りることが多いです。でも新刊本はすぐ返すようにしていますからね。そしていつも楽しみにしているのが、正門付近などに貼ってある案内ポスターです。お茶目でしゃれていますよね。実は、この『ブック村だより』に文章を書くお話をいただいたとき、真っ先に浮かんだのが、このポスターのことでした。みなさんも注目してくださいね。

つらつらと図書館にまつわる思い出を書きつらねてみると、図書館にはずいぶんお世話になってきたなあと思います。このところ借りるより買う方が勝っていましたが、やっぱり図書館はいいですね。



『ビブリア古書堂の
事件手帖』(1)(2)(メディアワークス文庫, 2011.3)
三上 延 著

本好き人間にはたまらないシリーズとして、知人ぞ知る「ビブリア古書堂」シリーズがあります。主人公は浪人中の五浦大輔ごうらいすけという長身で少しオタクっぽい男ですが、彼の目を通してビブリア書店主しのかわしおりこ、篠川 葉子こころだすけ（これまた、世捨て人的性格）という若き乙女や、その他多くの人々が折りなす人間模様が描かれています。もうひとつの主人公は「古書」そのものです。どの事件も生ぐさくない日常的ミステリーであるが、その中心となるのが、何らかのいわくのある本なのです。たとえば福田定一の「サラリーマン」という随筆ってわかります？ 東大阪市にまことに縁の深い、ある人物に関係があるのですが、ネタバレラシになりそうなのでやめておきましょう。

登場する本も漱石や太宰などの日本文学のみな

らず、アンソニー・バージェスの『時計じかけのオレンジ』やコミックまで広い範囲です。

安楽椅子探偵役は、主人公が恋心を持つ店主、葉子さんですが、謎解きの段階における本のウンチクも仲々のもの。ストーリーとし

ておもしろいので読んでみて下さい。個人の好みから言えば、第2巻の中編3本が（ストーリーの新展開も含めて）おもしろい。特に足塚不二雄（藤子不二雄）の最初の長編『UTOPIA —— 最後の世界大戦 ——』の回は必読でしょう。

(学長 谷岡 一郎)



『ヒトラーのウィーン』

(新潮社, 2012.1)
中島 義道 著

画家志望の青年ヒトラーは、いつ、どのようにして反ユダヤ主義の怪物ヒトラーになってしまったのだろうか？ 中島氏はヒトラーが青春時代を過ごしたウィーンにその手掛かりを求める。幾度も美術学校受験に失敗し、路上生活者にまで身を落とし、にもかかわらず芸術を偏愛し、いわれなき自負心を抱き、頑強な肉体と偏狭な精神を保持した青年ヒトラー、この彼の精神に何が起こったのか。

本書では、そこでの推論のなされ方が面白い。著者はウィーンに、さらにヒトラーが少年時代を過ごしたリンツへと足跡を求め、氏の心中に潜む小ヒトラーを呼び出し、ヒトラーの実体験と共鳴させる。ミステリー小説における犯罪捜査官のように。

ヒトラーのウィーンはユダヤ人が経済や文化芸術の分野で華々しい活躍を繰り広げる場でもあった。が同時に、ユダヤ嫌いの人々も多数存在する街でもあった。ヒトラーだけではなかったのだ。なにもヒトラーが自分独りで怪物と化したの

ではない。ドイツにとって不幸な時代に彼の弁説が大衆と共鳴作用を起こし、さらにそのことが彼の弁説を補強する。この過程から怪物が生まれたのであろう。明らかに、ユダヤ嫌いとは反ユダヤ主義は異なる。嫌悪感を正当化しイデオロギー化すると固定される。こうなると解除できない。ならば民族的嫌悪感をあえて感情の域に止め置くことが次善の賢明な策であると思はる。

(経済学部 教授 塩田 真典)



『なぜ日本は破綻寸前なのに円高なのか』

(幻冬舎, 2012.1)
藤巻 健史 著

経済の先行きについて、大まかにでも当てることは極めて難しいことである。

たとえば、わが国の莫大な政府債務がこれからどのようになるのかという問題についても、論者によってさまざまな見解である。今回の「ブック村だより」が届くころには、政府債務は1,000兆円を上回っているかもしれない。名目GDP480兆円（10年度）、家計金融資産1,483兆円（11年12月末）と対比すると、大変な金額である。そこで、「いずれ日本はギリシャのように破綻する」、逆に、「ギリシャと違って、日本の国債はほとんど国内で消化されているので、外国人の投機で暴落するようなことはない」、といった正反対の意見が展開されている。

為替レートについても、様々な見方に別れてい

る。すなわち、米国の国力の低下などから、1ドル50円になるという大胆な予測をする人。一方、著者に代表される極端な円安を予想する人などさまざまである。どちらが正しいかは結果が出ないと、軍配をあげることはできないが、円と



ドルとの関係は日・米の将来をも含めた国力の相対的な関係を表しているものとされている。円高論者は、アメリカの悪いところにだけ注目して、円高がどんどん進んでいくと予想している。これに対して、円安論者は、財政破たんを契機に国債バブル、円高バブルが破裂し、国債価格の急落と円安が進行すると見ている。大切な問題だけに、本書を読んで、読者自身でどちらが正しいか考えてほしい。

(経済学部 教授 佐和 良作)

『風をつかまえた少年 : 14歳だったぼくはたったひとりで風力発電をつくった』

(文藝春秋, 2010.11)
ウィリアム・カムクワンバ、ブライアン・ミーラー 著

まず、「この本、タイトルが良いな」と思って本屋さんで思わず棚から出してみた。帯に書かれた文章を読んで、「あ、学生諸君にぴったり、かも」と直感した。

この本の帯に書かれた「学ぶことの本当の意味を教える感動の実話!」「ぼくは願った。勉強をしたい、本が読みたい…」という売り文句は、いったいどれほどのインパクトで読者の胸にとどくだろうか? 日本とアフリカ諸国とでは地名や人名はもとより、多くの点で社会や生活の在り方があまりにも大きく異なっているため、もしかしたら少し読みにくい点やわかりづらい内容がこの本にはつきまとうかも知れない。

しっかあ〜し! ちょおつと待った、チョと、待った!!

この本は、決して途中で投げ出したりしてはイケない、投げ出すとバチがあたる含蓄深い本である。せっかく手にした本を中途半端に投げ出してしまふような人は、まずはこの本の14章以下にぎっと目を通してみ



る、ベシ。そうすればたちまち、「風をつかまえた」この少年が、人間の成長にとってホントに大切なことがらを幾つも教えてくれることに気づく筈。ひょっとしたら、先日放映されたテレビのドキュメンタリーでこの「風をつかまえた少年」を観て涙した人も居る、かも。若き日々、涙流せる本や映画や音楽に出会える喜びは、実には、何ものにも代え難い永遠の輝きにつながるモノ、でござる。

春灯を 風につなげる 夢枕 響太郎

(総合経営学部 教授 下山 晃)

学生選書スタッフ 2011年度活動報告

昨年度、「学生選書」は約800冊が選書され、2,250回貸出されました。年間を通じて、下記の活動をおこないました。

【選書ツアー】

学生選書ツアーは春と秋に実施しています。昨年度はのべ29名により、736冊が選書されました。



図書は「学生選書コーナー」に並べられます。資格・就職コーナーに次ぐ人気コーナーとなっています。是非チェックしてみてください。

【2011年度 学生選書ベストリーダー】

- 1位(22回)：1Q84: book 1 / 村上春樹著
- 2位(18回)：1Q84: book 3 / 村上春樹著
- 3位(14回)：朝5時半起きの習慣で、人生はうまくいく！ / 遠藤拓郎著
- 4位(11回)：「また会いたい」と思われる人の38のルール / 吉原珠央著
もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら / 岩崎夏海著
- 5位(10回)：東大生が見つけた世界一わかりやすい英単語の覚え方 / 浅羽克彦著
超訳ニーチェの言葉 / 白取春彦編訳
甲子園だけが高校野球ではない / 岩崎夏海監修
D.カーネギーの突破力 / D.カーネギー協会編：片山陽子訳

【読書会】

昨年度は計5回実施しました。2年連続でベストリーダーになった杉山祐脩さん、読書会提案者阿部竜作さんが立ちあげた「投資研究会」の中心メンバーの皆さん、OBPコースで活躍された堤さんを中心に、幅広く支持される良書を紹介頂きました。推薦図書74冊については、今春の企画展示「学生選書スタッフPresents! この本がおもしろい!!」で紹介し、約90回の貸出がありました。



～「学生選書スタッフPresents! この本がおもしろい!!」人気図書 Best3～

1位

『武器としての決断思考』 瀧本哲史 著
『僕は君たちに武器を配りたい』 瀧本哲史 著

2位

『仕事は楽しいかね?』 デイル・ドーテン 著
『考える技術・書く技術』 バーバラ・ミント 著
『世界が恋した美人時計』 中屋優大、橋本竜 著
『旅する力: 深夜特急ノート』 沢木耕太郎 著

3位

『夢をかなえるゾウ』 水野敬也 著
『就活のバカヤロー』 石渡嶺司, 大沢仁 著
『十字架』 重松清 著
『「やめること」からはじめなさい』 千田琢哉 著
『どちらかが彼女を殺した』 東野圭吾 著
『なぜアップルの時価総額はソニーの8倍になったのか?』 長谷川正人 著
『頭のいい人が「脳のため」に毎日していること』 トッド・カシュダン 著
『売れる!!ネーミングの秘密』 感性リサーチネーミングラボ 著
『ビジネスで一番、大切なこと』 ヤンミ・ムン 著
『ビル・ゲイツの面接試験』 ウィリアム・パウンドストーン 著

なお、選書活動に大きく貢献いただいた4年生の卒業にあたり、送別会を行いました。卒業生スタッフからは、「多くの出会いがあり、楽しい経験となった」「後輩スタッフには今までのやり方にこだわらず、楽しみながら活動を盛り上げてほしい」「また遊びに来るかも(笑)」といったコメントを頂きました。4年間、本当にありがとうございました!

データベース活用講座③

日本経済社が提供する日本最大級のデータベース、「日経テレコン21」からは、「日本経済新聞」を初め日経各紙過去30年間の記事、国内企業・海外事業所情報、各界著名人の人事情報などが検索できます。レポート・論文作成の際や、就職活動バックアップツールとして、幅広く活用しましょう。

入り口：「大阪商業大学図書館」ホームページ
<http://www.lib.daishodai.ac.jp/> (学内のみ)



トップページ「**本学資料検索**(①)」より「**契約データベース**(②)」をクリックすると、データベース一覧が表示されます。



◎**新聞記事を探す**の項にバナー(③)が表示されますので、クリックして下さい。

「日経テレコン21」トップページ



◎サービスの概要

ニュース

「日経速報ニュース」のほか、企業・団体などの「**プレスリリース**」(報道機関向け発表資料)を閲覧できます。

きょうの新聞

日経四紙(日本経済新聞朝刊・夕刊・地方経済面、日経MJ(流通新聞))、日経プラスワンの**新聞速報**を閲覧できます。

新聞記事検索・本文閲覧

日本経済新聞・日経産業新聞・日経MJ(流通新聞)・日経金融新聞、日経地方経済面、日経プラスワン、日経マガジンの記事を過去にさかのぼって自由に検索することができます。各紙の掲載期間は「サポートツール」内「ヘルプとサポート」から、「**リファレンス・マニュアル**」(④)を参照してください。



ここから「**利用マニュアル**」も閲覧・ダウンロードできます。



企業検索

日本経済新聞社の定期調査データ、「**日経会社プロフィール**」の検索メニューです。会社名・業種・企業規模による条件検索などが可能です。

また上場企業、ジャスダックの一般事業会社の**主要貸借対照表**、**損益計算書**などの**企業決算**も検索できます。

人事検索

「日経WHO'S WHO」から、全国の上場および有力未上場企業約4,600社の役職者、各種団体の幹部職員、国会議員および県会議員の人事情報を検索できます。

図書館インフォメーション

◆特設コーナー『新生活応援キャンペーン』ご活用ください！

新入生のみなさん、新たに一人暮らしを始める人や就活中のみなさんにお薦めする本を、特設コーナーに集めました。初心者向けレシピや片付け術、勉強のコツなど、幅広く集めています。図書館2F、201書架に展示しています。この機会に、一度のぞいてみてはいかがでしょうか。(利用好調のため、貸出中のご容赦下さい。)

◆2011年度「ベストリーダー」発表！

昨年度、最も貸出された資料は下記のとおりです。

- 第1位 もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら / 岩崎夏海著 (ダイヤモンド社, 2009.12)
- 第2位 1Q84 (ichi-kew-hachi-yon) : a novel ; book1 / 村上春樹著 (新潮社, 2009.5)
- 第3位 マネジメント：基本と原則 / P.F. ドラッカー著；上田惇生編訳 (ダイヤモンド社, 2001.12)

◆平成23年度下半期に寄贈された本学教員著書は下記の通りです。(50音順 敬称略)

※配架場所は「本学教員著書コーナー」です。貸出もできます。

- 【岩井 紀子・保田 時男・穴戸 邦章】『Family values in East Asia』英語版 ナカニシヤ出版, 2011.10.
- 【河辺 純】『バーナード』文真堂, 2011.12. (経営学叢書: 経営学史学会創立20周年記念; 6).
- 【北川 博子】『上方歌舞伎と浮世絵』清文堂出版, 2011.12.
- 【木村 雅文】『若者と現代社会』学文社, 2005.3.
- 【下山 晃】『食の経済』ドメス出版, 2011.10.
- 【谷岡 一郎・崔鍾植・齊藤 豊治】『The Preliminary Program : August 5-9th, 2011』International Society for Criminology, 2011.
『The book of abstracts : August 5-9th, 2011』International Society for Criminology, 2011.
『国際犯罪学会第16回世界大会報告書』国際犯罪学会第16回世界大会実行委員会, 2012.3.
- 【中津 孝司】『中東新戦争勃発：原油200ドル時代到来』同文館出版, 2011.9.
『世界市場新開拓：チャイナ・リスクに警鐘を鳴らす』創成社, 2011.7.
- 【保田 時男】『第3回家族についての全国調査 (NFRJ08) ; 第2次報告書 第4巻』日本家族社会学会全国家族調査委員会, 2011.9.
- 【安室 憲一】『多国籍企業と地域経済：「埋め込み」の力』御茶の水書房, 2012.2.

開館案内

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

●は休館日です。

上記以外にも臨時休館日を設定場合があります。
開館日程および時間は変更されることがあります。
詳細は学内掲示・ホームページ等でお知らせ致します。